

公益財団法人日本バスケットボール協会
平成25年度 第10回理事会 議事録

日時：平成26年2月11日(火・祝) 10:00～14:35

場所：スタンダード会議室 五反田店

出席：＜理事＞

深津泰彦会長職務代行、丸尾充、梅野哲雄の各副会長、星芳樹専務理事、伊藤信明、熊谷秀樹、坂本昌彦、佐々木三男、品田奥義、庄司義明、高橋雅弘、田窪徹、野村俊郎、原田茂、福井晴次、堀井幹也、水谷豊、吉田長寿、吉田利治の各理事

＜監事＞

高原洋太郎、松岡憲四郎、山崎均の各監事

＜特任委員＞

内山英司、小倉恭志、片山正明、西井歳晴、林直樹の各特任委員

欠席：麻生太郎会長、大神訓章、大山妙子、鈴木秀太の各理事、上島正光特任委員

オブザーバー：山見博康裁定委員会委員長、金井克仁弁護士／裁定委員会委員

議題

- (1) 2014(平成26)年度 事業計画・収支予算について
- (2) 基本規程の改定について
- (3) 評議員候補者の推薦について
- (4) 臨時評議員会の開催について
- (5) 男子強化戦略委員会 答申について
- (6) JBA改革委員会について
- (7) 第18回日韓スポーツ交流事業・成人交流の共催依頼について
- (8) コーチライセンス義務付けの適用大会レベルと範囲について
- (9) 外国籍コーチに対する対応について
- (10) 平成27年勲章及び褒章候補者の推薦について
- (11) 消費税アップに伴う出版物等への反映について
- (12) 収納代行手数料の負担について
- (13) 大会要項について
- (14) 国体における参加資格違反に対する対応について
- (15) ミニバスケットボール競技規則の一部改定について
- (16) 上級審判昇格審査について
- (17) 3x3登録料について
- (18) 大会予算について
- (19) Pリーグならびにリーグ構造検討プロジェクト答申について
- (20) 暴力行為等に関する裁定委員会答申について

1. 定足数の報告

堀井理事より出席者数の報告があり、定款32条に基づき、理事現在数(23名)の過半数の出席数(出席:19名)を満たすため、会議成立が宣せられた。

2. 挨拶

深津会長職務代行より開会の挨拶があった。

3. 議事

議長は深津会長職務代行為務めた。

(1) 2014(平成26)年度 事業計画・収支予算について (星専務理事)

資料に基づき、2014(平成26)年度事業計画(案)、活動計画書(案)および収支予算(案)が提案された。予算編成については、オリンピック対策、2017年からのワールドカップ予選(男子)、Pリーグ対策、組織強化、普及登録推進、2015年FIBA ASIA選手権大会(女子)の日本招致を重点事業とし、また、東京オリンピックの決定を受けて選手強化活動を重視することとし、収支予算書ベースで収支とも1,517百万円の予算編成とした。また、2012年のFIBA ASIAカップを主因とする赤字分の補填については、予算執行段階で損益計算書ベースでの収支プラスを目指すことが説明された。審議の結果、原案通り承認され、3月の評議員会に提案することとなった。

<承認>

(2) 基本規程の改定について (堀井理事)

「役員候補者の選定に関する規程」の改定および認定団体(車椅子連盟)の法人化に応じて、基本規程の該当条文(第25条および第94条)を変更することが提案され、原案通り承認され、3月の評議員会に提案することとなった。

<承認>

(3) 評議員候補者の推薦について (堀井理事)

福岡県協会推薦の堺評議員の辞任に伴い、福岡県協会より改めて推薦された井手口孝氏を評議員候補者として評議員選定委員会に推薦することが提案され、承認された。

<承認>

(4) 臨時評議員会の開催について (堀井理事)

2014(平成26)年度事業計画・収支予算、会長候補者の選任、役員候補者の選定に関する規程の改定および基本規程の改定を目的として3月15日に臨時評議員会を開催することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(5) 男子強化戦略委員会 答申について (丸尾副会長)

2020年の東京オリンピックに向けた男子強化の指針として、男子強化戦略委員会からの答申が提案された。答申では、2020年に向けた目標設定および2014年以降の強化活動の方向性が示され、今後はこの答申にそって活動を進めていくこと、また、2014年3月末までに「男子強化責任者」「男子日本代表ヘッドコーチ」等の候補者の決定を目指すこと、さらに、組織については新たに設置される予定のJBA改革委員会にてより具体的に検討を進めることが提案され、承認された。

<承認>

(6) JBA改革委員会について (深津会長職務代行)

広報・事業活動の強化、オールジャパン、ウインターカップ、日本代表戦などのさらなる事業化、オフィス機能の強化等を目的としたJBAの機構・構造改革を最大のミッションとし、また、Pリーグプロジェクトの推進および男子強化戦略委員会の答申内容を進めていくため、特別委員会として「JBA改革委員会」を設置することおよびメンバーが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(7) 第18回日韓スポーツ交流事業・成人交流の共催依頼について (堀井理事)

第18回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流について、日体協の共催依頼に基づき、共催することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(8) コーチライセンス義務付けの適用大会レベルと範囲について (佐々木理事)

資料に基づき、2015年度から実施する全国大会におけるコーチライセンス義務化の適用大会レベルおよび2014年度のJBA主催大会要項の参加資格に明記する内容が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(9) 外国籍コーチに対する対応について (佐々木理事)

NBL、NBDL、WJBL、bjリーグに適用する措置として、外国籍コーチに関する規定を別途定めることおよびその内容が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(10) 平成27年勲章及び褒章候補者の推薦について (堀井理事)

平成27年の勲章候補者として、選考基準を満たす者の中から年齢等を考慮し、顧問の武富邦中氏を推薦することが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(11) 消費税アップに伴う出版物等への反映について (堀井理事)

平成26年4月1日からの消費税増税に伴い、ルールブック等の出版物、検定料等の価格改定を行うこと、またそれに応じて関連規程の改定を行うことが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(12) 収納代行手数料の負担について (堀井理事)

TeamJBA(会員登録管理システム)における収納代行手数料について、消費税増税対応、システムの改修、機能の充実、普及・登録推進のため、平成26年度から支払者負担にすることが提案された。審議の結果、4月からの適用には周知に十分な時間が取れないこと、登録者への実質負担増への配慮などから平成26年度からの導入は見送ることとし、導入の可否や時期等引き続き検討を行うこととなった。

<継続審議>

(13) 大会要項について (庄司理事)

「日本スポーツマスターズ2014埼玉大会」および「第42回日本車椅子選手権大会」の実施要項が提案され、原案通り承認された。

<承認>

(14) 国体における参加資格違反に対する対応について (品田理事)

今年度開催された東京国体の近畿ブロック予選における京都の成年男子チームの参加資格違反(未登録の選手の出場)について、規律プレイクリーン委員会にて協議の結果、次のとおり提案があった。京都協会に対する処分(「戒告」とする)。当該選手に対する処分(日体協の処分に準じ、本大会への参加を認めない)。都道府県協会・ブロック協会・各種連盟への注意喚起レターの送付。当該選手の所属する日本実業団連盟への注意。以上について審議の結果、全て原案通り承認された。

<承認>

(15) ミニバスケットボール競技規則の一部改定について (吉田(利)理事)

ミニバスケットボール競技規則のうち、30秒ルールに関する一部改定、尚、施行は2014年4月1日からとすることが提案され、原案通り承認された。

<承認>

(16) 上級審判昇格審査について (田窪理事)

平成25年度の強化合宿等を経て、AA級に9名、A級に33名の昇格者の推薦があり、原案通り承認された。

<承認>

(17) 3x3登録料について (吉田(長)理事)

3x3の登録制度の導入にあたり、1点目として、JBA3x3公式・公認大会に出場する競技者は有料とすることおよび都道府県協会の登録料は都道府県の判断により設定できるものとする(金額の上限あり)、ただし、2014年度は3x3の普及、登録者数の増加を図る観点から登録料は徴収しないこと、2点目として、大会の開催権が与えられるオーガナイザーの登録料は1万円(年間)とすることが提案され、原案通り承認された。

また、同時に、FIBAからの要請を受けて2014年度のFIBA 3X3 ワールドツアーファイナルを日本で開催することも提案され、事前にレギュレーションの確認を十分に行い、協働事業として予算化する3千万円の範囲内で行えることを確認した上で招致することが承認された。

<承認>

(18) 大会予算について（庄司理事）

第27回都道府県対抗ジュニア大会および第45回全国ミニ大会の実行予算案が提案され、ジュニア大会については、当初予算より5,870千円増となることが説明され、審議の結果、原案通り承認された。

＜承認＞

(19) Pリーグならびにリーグ構造検討プロジェクト答申について（星専務理事）

2012年6月の理事会で承認された「2013年新リーグ基本方針について」を踏まえ、Pリーグプロジェクトより、「1. 2016－2017シーズンからトップリーグ（PリーグならびにAリーグ）をプロリーグとして運営すること」、「2. 2016－2017シーズンから全国リーグの構造を3階層とし、Pリーグを全国リーグ1部（トッププロリーグ）、Aリーグを全国リーグ2部（育成プロリーグ）、Bリーグを全国リーグ3部（普及オープンリーグ）とすること」を要旨とした答申が提案され、原案通り、承認された。

また、この答申に基づき、今後本件に関わる業務を行うため、「プロリーグ設立準備室」および「リーグ構造改革推進室」を設置することとなった。

＜承認＞

(20) 暴力行為等に関する裁定委員会答申について（堀井理事）

熊本県の中学校（男子）の外部指導者による暴言について、裁定委員会における事実確認の結果、対象者を戒告とする答申が出された。また、三重県の中学校（女子）の顧問による体罰について、裁定委員会の事実確認の結果、対象者を譴責とする答申が出された。以上について審議の結果、2件とも答申通りの処分を科すことが承認された。

＜承認＞

4. 報告事項

(1) JBA・FIBAミーティングについて（星専務理事）

1月28日～29日にFIBA（スイス）を訪問し、パトリック・バウマンFIBA事務総長や各担当部長と強化、2017年からの競技日程、テクニカル、リーグ構造・JBA改革、3x3等についてのミーティングを行ったことおよびその概要が報告された。

(2) 一般報告（堀井理事）

2013年12月および2014年1月の諸会議等の開催実績が報告された。

(3) 総務部（堀井理事）

車椅子連盟より「2014車椅子バスケットボール親善交流会in大阪」の後援名義申請があり、後援名義使用許可基準に基づき名義使用の許可を行ったこと、今年度のチーム加盟数・競技者登録数はいずれも前年度を上回っていること、また今年度の登録締切は2月28日、2014年度の登録開始は3月11日となることなどが報告された。

(4) 事業戦略部 (吉田(長)理事)

2014年度の日本代表国際親善試合について、男子は7月19日～21日に京都、大阪、兵庫、女子は7月25日～27日に秋田、山形での開催となったことなどが報告された。

(5) 3x3推進室 (吉田(長)理事)

「3x3日本選手権プレ大会」および「adidas presents 3x3 TOURNAMENT. EXE 2013 FINAL STAGE」の開催レポートなどが報告された。

(6) 競技会委員会 (庄司理事)

平成26年度の競技日程の一部変更、国内大会の組合せおよび結果、また、「JX-ENEOSウインターカップ2013」、「オールジャパン2014」の入場者数、決算見込みなどが報告された。

(7) 女子ナショナル委員会 (高橋理事)

平成25年度の女子日本代表活動を総括したレポートが報告された。

(8) テクニカル委員会 (佐々木理事)

コーチコミッティーグループ関連では、海外派遣コーチの対象者・日程・内容およびJBA公認B級コーチ養成講習会の日程、また、エンデバーグループ関連では、U-13・U-18のブロックエンデバーの日程・派遣メンバーなどが報告された。

(9) 審判審査委員会 (田窪理事)

平成25年度後期の審判審査委員会の活動状況が報告された。

(10) 国体委員会 (野村理事)

日体協からの実施規模に関するアンケートについて、全種別12名エントリーとなるよう8名増の1040名への変更を希望することなどの回答を行ったこと、また、ユニフォーム広告に関する調査については、当協会の定める「ユニフォーム規程」の範囲内で推進することを回答する予定であることが報告された。

(11) bjリーグ関連について (堀井理事)

1月15日にbjリーグに対して、FIBAから指摘を受けたリーグ構造やローカルルールについての説明を行ったこと、また、その後bjリーグが採用しているローカルルールの報告を受けたことが報告された。

以上